

Emacsを活用したプログラマ採用

自己紹介 & プレゼント

自己紹介(1)

アリエルネットワーク社員番号2番

井上誠一郎

自己紹介(2)

- Emacs暦はmuleが生まれる少し前ぐらいから
- <http://www.jwz.org/doc/emacs-timeline.html>

自己紹介(3)

- Software Design 「Emacsのトラノマキ」 監修(+ 時々執筆)



自己紹介(4)

- ストールマンに会った回数
 - 1998年10月 Free Software Award 1st @ MIT Media Lab
 - 2006年11月 IPA Codeblog招待講演 @ IPA
 - 2007年10月 特別講演 @ 専修大学

自己紹介(5)



書籍プレゼント

- ストールマンに会った回数が一番多い人
- 同数の場合、年令が若い人

本題

Emacsを活用したプログラマ採用

Emacs使い(1)

- 道具へのこだわりがわかる
- 優れたプログラマは自分の使うツールにこだわる(ことが多い)
- 書籍「達人プログラマー」参考

Emacs使い、(2)

- 難しいものが好き
- 「バッドノウハウと「奥が深い症候群」」
(by 高林さん)
- 優れたプログラマはバッドノウハウに惹かれる(ことが多い)

Emacs使い、(3)

- 機能美がわかる
- 優れたプログラマならself-insert-commandのセンスオブワンダーに共感できるはず

Emacs使い、(4)

- (言語的) 拡張性の価値がわかる
- ソフトウェア開発の多くは抽象レイヤの作成
- 発達したAPIは言語と区別がつかない

Emacs使い、(5)

- 王と道化



クリシュナ

まとめ

Emacs使いに悪人なし